

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	人工内耳	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30時間(単位)
対 象 学 年	2年生	学期	前期	教室名	603教室
担 当 教 員	長富				
実務経験と その関連資格	2015年より近畿大学病院で各種聴覚機能検査、補聴器フィッティング、人工内耳マッピング、人工中耳やBAHA、Bonebridgeの調整を担当。				
《授業科目における学習内容》					
パワーポイント(スライド)を使用して講義を行う。 骨固定型補聴器、人工中耳、人工内耳の仕組み・構造、術後に実施するフィッティングやマッピングについて理解する。					
《成績評価の方法と基準》					
定期試験(100%)					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
「聴覚障害学」、配布資料 ※2024年2月の国家試験の出題を見てから変更する可能性あり					
《授業外における学習方法》					
日本聴覚医学会、日本耳科学会等の論文から、より詳しい内容や現在の日本の状況を知ることができる。 また、各人工内耳メーカーのHPからは、最新の人工内耳機器に関する情報が得られる。					
《履修に当たっての留意点》					
難聴の種類と程度分類、補聴器について授業を受ける前に復習しておいて下さい。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	骨固定型補聴器(BAHA、BONEBRIDGE)の構造・仕組み・リハビリテーションについて理解する	聴覚障害学 配布資料	補聴器の授業の復習をして おいてください。	
	各コマにおける授業予定	骨固定型補聴器(BAHA、BONEBRIDGE)の構造・仕組み・リハビリテーション			
第2回	授業を通じての到達目標	人工中耳(Vibrantsoundbridge)の構造・仕組み・リハビリテーションについて理解する	聴覚障害学 配布資料	補聴器の授業の復習をして おいてください。	
	各コマにおける授業予定	人工中耳(Vibrantsoundbridge)の構造・仕組み・リハビリテーション			
第3回	授業を通じての到達目標	人工内耳の構造・仕組み・リハビリテーションについて理解する	聴覚障害学 配布資料	難聴の種類と程度分類について復習しておいてください。	
	各コマにおける授業予定	人工内耳の構造・仕組み・リハビリテーション			
第4回	授業を通じての到達目標	残存聴力活用型人工内耳、聴性脳幹インプラントの構造・仕組み・リハビリテーションについて理解する	聴覚障害学 配布資料	難聴の種類と程度分類について復習しておいてください。	
	各コマにおける授業予定	残存聴力活用型人工内耳、聴性脳幹インプラントの構造・仕組み・リハビリテーション			
第5回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 6 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 7 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 8 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 9 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 0 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 1 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 2 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 3 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 4 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 5 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			